

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.340



大会旗引継ぎ授与式

Contents

02 トピックス

- ・大分ため池技術研究会の新たな動き
（「施工部会」、「幹事会」）
- ・第9回大分県土地改良振興大会を開催
- ・令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会
in Kazuno が開催される
- ・第45回全国土地改良大会が開催される

05 会議・要請活動

- ・令和5年度 第1回監事会・監査及び第1回理事会を開催
- ・“義経会長” 会員からの要請を受けての対応報告
- ・水土里情報センター推進協議会が令和5年度総会を開催
- ・令和5年度 大分県多面的機能支払推進協議会通常総会
- ・令和5年度 農業土木技術研修会及び大分県農村振興技術
連盟総会の開催

10 インフォメーション

- ・大分県土地改良区理事長会総会を開催
- ・令和5年度「大分県畑地かんがい施設対策推進協議会」
総会および研修会
- ・第1回 田んぼダム推進部会 設立総会
- ・大分県農業集落排水事業研修会を開催
- ・令和5年度 おおいた水土里ネット女性の会 総会
- ・令和6年度 農業農村整備事業関係予算の概算要求に
ついて
- ・令和5年度 土地改良役職員研修会
- ・令和5年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会
30周年記念総会
- ・大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2023

10
2023
October

❖ 大分ため池技術研究会の新たな動き（「施工部会」、「幹事会」）

本年6月27日（火）の総会で今後の研究会活動の充実を図るため「幹事会、部会」の設置を可能とする規約改正がなされ、これまで施工部門の会員が少なかった法人会員に新たに施工部会が発会（8月30日（水））し、また、役員会の下部組織として活動計画検討等の作業を行う幹事会の第1回が10月5日（木）に開催された。

○8月30日（水）、「施工部会」発会式を開催

法人会員のうち施工部門に属する21社が参集し、ため池工事に関わりの深い会員から部会長と幹事2名を選任し発会した。実効ある部会活動となるよう部会員同士の連絡網を整備し幹事会に現場の声をつなげていくことにした。



○10月5日（木）、第1回幹事会を開催

様々な研究会会員の意見等を集約しやすいよう地質調査、設計コンサル、工事・施工管理等の各部門の実務担当者で構成する幹事による第1回幹事会が10月5日（木）に開催され、技術講演会や現場研修会の具体的な内容等について活発な意見交換が行われた。



ため池研究会では、今後、これら施工部会や幹事会を通じて各会員の現場の声を研究会活動に反映させていくこととしている。

❖ 第9回大分県土地改良振興大会を開催

大分県土地改良事業団体連合会、大分県農業農村整備事業推進協議会、大分県土地改良区理事長会は、9月15日（金）に大分市のホルトホールにおいて大分県土地改良振興大会を開催し、県下より関係者約600人が参集した。来賓には佐藤大分県知事、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員、北林英一郎九州農政局長、元吉俊博大分県議会議長、志村学県議をはじめ5名の農業農村整備事業推進協議会顧問団、県関係では佐藤章農林水産部長のほか各振興局長らに出席いただいた。



主催者を代表し義経会長が「この大会の目的は、土地改良事業をしっかりと県民の皆様に理解していただき、土地改良区の皆様が地道に農地や農業用施設を管理し大分県農業を支えている。この土地改良区の役割をしっかりと県民の皆様にPRすること。そして、今抱えている課題をこの場に挙げ、その実現に向けて一致団結して頑張っていく。今年は6つの大会決議案を決議し、推進項目としたい」と力強く挨拶を述べた。来賓からは、佐藤県知事、宮崎参議、北林農政局長、元吉県議長、志村県議に挨拶をいただいた。佐藤県知事は「農業農村整備を果たして進めていくこの役割というのは大変重要。様々な課題について皆様方とともに農業の振興のために、しっかりと取り組んでいきたい」と述べた。

続く「地域の声」では、駅館川土地改良区連合の榎伸行係長と豊後高田市耕地林業課の相良文哉主任より、農業農村整備事業や地域農業と施設管理の重要性を踏まえた発表が行われた。

最後に大会決議を参加者全員の賛同を得て採択した。大会後には宮崎参議から「これからの農政と土地改良」と題して基調講演が行われた。

大会決議

- 一、食料安全保障強化を推進するために不可欠な農業水利施設等を次世代に引き継ぎ、地域の声に応えるための農業農村整備事業予算の確保
- 一、地域資源を適切に保管理し、自然豊かな美しい農業・農村を健全に維持するための多面的機能支払交付金制度の推進及び活動に必要な予算の確保
- 一、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化の実現のために、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化に加え、流域治水対策や老朽化した農業水利施設の長寿命化対策の推進
- 一、地域農業の発展の一翼を担っている土地改良区を新たに「食料・農業・農村基本法」で位置付け、運営基盤強化に向けた公的助成制度の創設
- 一、燃料価格や電力料金が高騰する状況下において、引き続き安定した用水供給等が可能となる対策の支援
- 一、農業農村整備事業を推進するために必要な、農業土木技術者の確保と育成への支援



主催者挨拶
(義経会長)



来賓挨拶
(佐藤県知事)



地域の声
(榎係長)



地域の声
(相良主任)

令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno が開催される

9月27日（水）から9月28日（木）にかけて、令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazunoが秋田県鹿角市にて開催された。

本大会では、各都道府県の水土里ネット女性の会会員及び関係者が一堂に会した。男女共同参画推進の意義をより一層深めるとともに、先進的取組事例等を学び、個々のスキルアップを図りながら、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的とし、開催された。

1日目は、主催者・来賓のあいさつの後、農林水産省農村振興局農村政策部長 佐藤 一絵氏による基調講演が行われた他、現役女性理事によるパネルディスカッションが行われた。



主催者あいさつ
(全国水土里ネット女性の会、あきた水土里ネット女性の会 委員長 根本 由紀子)



パネルディスカッションの様子

2日目の現場研修では、女性農業従事者によるトーク講演が行われ、現場の様々な声を拝聴することができた。

令和2年及び、令和3年に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画、土地改良長期計画の目標値をクリアすべく、今後も男女共同参画推進を継続的に行っていくよう改めて周知された。

第45回全国土地改良大会が開催される



10月11日（水）、第45回全国土地改良大会福井大会が福井県のサンドーム福井で開かれた。大会は『「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある ～ふくいで語る 土地改良の未来～』をテーマに、全国の土地改良関係者約4千人が参加し、農業を支える農地と水を守り育む、土地改良の役割を語り合った。大分県からは、義経会長を団長に、本会及び会員改良区より32名が参加した。

式典では、開催県である山崎正昭福井県土地改良事業団体連合会会長より開会挨拶。続いて、主催者挨拶では、全土連の二階俊博会長が体調不良のため、福井大会を急きょ欠席。全土連副会長の義経会長が「永平寺を開山した道元禅師は、柄杓に汲んだ水を必要な分だけ使ったら、残りの水を元の川に戻したと言われている。どんなに水が豊かにあってもその一滴を戻せば下流で水を使う人の為になる。この「杓底一残水」の心は、土地改良の神髄であり、古来より先人間で脈々と受け継がれてきた精神。この大会を通じて、土地改良の大切さを全国の皆様と共有し発信していこう」と代読した。その後、杉本達治福井県知事、山田賢一越前市長、佐々木勝久鯖江市長の歓迎のことは、来賓として武村展英農林水産副大臣、福井県選出の稲田朋美衆議院議員、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員より祝辞があった。

続いて行われた土地改良事業功績者表彰では、農林水産省農村振興局表彰を駅館川土地改良区連合 是永修治理事長、全国土地改良事業団体連合会会長表彰を野津土地改良区 佐藤勇夫理事長が表彰された。

大会旗引継ぎでは、全土連副会長である義経会長が、山崎正昭福井県土連会長より受け取った大会旗を、次期開催県 森英介千葉県土連会長へ手渡した。

次回第46回大会は、令和6年10月22日（火）に千葉県千葉市「幕張メッセ」での開催が決定している。



全土連 二階会長の挨拶を代読する水土里ネット大分 義経会長



(左) 全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞した佐藤理事長
(中) 農林水産省農村振興局表彰を受賞した是永理事長(宇佐市長)
(右) 水土里ネット大分 義経会長(全土連副会長)

会議・要請活動

●令和5年度 第1回監事会・監査及び第1回理事会を開催

7月10日（月）、令和5年度 第1回監事会・監査が開催された。監事会では、年間の実施計画として10月に中間監査と補正予算の審議、1月に最終補正予算と令和6年度当初予算の審議を行うこととした。続いて監査が実施され、令和4年度事業報告、決算について諸帳簿・証拠書類等の確認、令和5年度第1回補正予算の審議も行いすべて承認された。

8月8日（火）には、第1回理事会が開催された。議事では令和4年度の事業報告及び決算、令和5年度第1回補正予算、業務執行状況が審議され、承認された。議事終了後は大分県農村整備計画課黒垣課長より農業農村整備事業についての諸報告が行われた。



第1回監事会・監査



第1回理事会

●“義経会長”会員からの要請を受けての対応報告

会員からの要請を受け関係機関への要請、現地視察を行うなど会員からの要望に対して迅速な対応を行って参ります。

◆令和5年6月23日（金） 豊後高田市 石河内溜池土地改良区

土地改良区決済金等支援に関する意見交換並びに畑地化対象受益地の現地視察

◆令和5年6月29日（木） 由布市 三船土地改良区 幹線水路陥没による被災状況の現地視察



◆令和5年7月6日（木） 日田市 女子畑土地改良区 幹線水路崩壊による被災状況の現地視察



◆令和5年8月2日（水） 大分市 明治大分水路土地改良区
県企業局への利水利用の要請



◆令和5年9月29日（金） 日田市 日田市土地改良区
揚水施設の更新に向けた対策についての現地視察



●水土里情報センター推進協議会が令和5年度総会を開催



8月4日（金）、大分県水土里情報センター推進協議会は、令和5年度総会を開催した。

総会にあたり、協議会長である水土里ネット大分の加藤正明常務理事は「皆様方より忌憚のないご意見をお聞かせいただき、意義のある総会としたい」と挨拶した。

水土里情報は、本年度4月時点で会員数63団体、うち51団体70部署152台のシステムが利用され、多面的機能支払や中山間直接支払、災害現地確認や字切図作成など多岐にわたり活用されている。特に、近年は農地情報の一元化のため農地基本台帳情報の格納や、農地集積図作成などに取り組む利用団体が増えている。

今年度の事業計画は、①研修会の実施 ②要望に応じた保守サポート ③利活用の推進 ④農地筆更新 ⑤水土里クラウド利用対応 ⑥スタンドアロン版システムのバージョンアップとしており、引き続き利用者の活用推進を図っていく。

最後に、協議会副会長である大分県農林水産部農村整備計画課の黒垣圭則参事監兼課長が「水土里情報システムは地域計画や担い手へ農地の確保、集落営農強化のための農地のゾーニング

など非常に有効なシステムであり、これまで以上に活用していただきたい」と挨拶し閉会した。

協議会終了後、現在トピックスでもある地域計画について実際に動いている地区を提示し事例発表を行った。



●令和5年度 大分県多面的機能支払推進協議会通常総会

令和5年8月4日（金）土地改良会館において、令和5年度大分県多面的機能支払推進協議会の総会が開催された。

開会にあたり本協議会の会長である大分県土地改良事業団体連合会義経会長より「田んぼダムの取り組みについて、最近は非常に異常気象であり降る雨も昔と違う。一気に洪水になり、線状降水帯も発生しやすいという事で洪水対策として流域全体で取り組んでいこうという時代になっている。田んぼに水を溜めて下流の方に一気に水が流れるのを少しでも防ごうという事で田んぼダムの取り組みを今後も推進協議会として進めて参りたいと思う。県に聞きますと、100haを目標に田んぼダムに取り組もうとしている。仮に一つの田んぼの畦が今まで以上に10cm水を溜めるとすれば100haの10cmだから10万tの治水ダムになる。田んぼダムの取り組みについても流域治水としてしっかり取り組むべき課題だと考えている。」と述べられた。



その後、令和4年度事業報告及び収支決算書、規約の改正、令和5年度事業計画及び収支予算案についての各議案が提出され満場一致で承認された。引き続いて、大分県農村整備計画課農村環境保全班より県下の本活動の取組状況や情勢等の説明があった。

協議会としても、本年度も事業計画に則り大分県、市町村、改良区と連携し事業推進並びに本事業の制度についてPRに努めていきたい。

●令和5年度 農業土木技術研修会及び大分県農村振興技術連盟総会の開催

令和5年8月4日（金）土地改良会館5階大会議室において、令和5年度 農業土木技術研修会を開催した。冒頭、大分県農村整備計画課黒垣参事監兼課長より御挨拶をいただいた。

講師に(有)お花屋さんぶんご清川 取締役 鈴木恵氏をお招きし、「大分県での企業的参入とのれん分け事業について」と題し御講演いただき、多くの出席者が企業参入の実態について見識を深めた。

研修会終了後、令和5年度大分県農村振興技術連盟総会を開催した。来賓として大分県より佐藤樹一郎知事に御出席いただき、祝辞が述べられた。議事では、「令和4年度事業報告・収支決算」「役員の改選（案）」「令和5年度事業計画・収支予算（案）」について審議を行い、賛成多数によりいずれも承認された。



●大分県土地改良区理事長会総会を開催

去る8月8日（火）、大分県土地改良区理事長会（副会長：吉良勝彦 高島井堰土地改良区理事長）は、3月に退任した会長（三上忠治 前並石土地改良区理事長）の職務代理として令和5年度の総会を開催した。

総会では、令和4年度の活動報告と収支決算報告、令和5年度事業計画及び収入支出予算案が審議され全会一致で承認された。

なお、今年度は、年明けの1月17日（水）に5月に新しく県知事に就任された、佐藤県知事との初めての懇談会「第12回 大分県知事との懇談会」を開催することとした。

また、三上会長退任に伴う役員改選では、会長に前副会長の佐藤慶一 荻柏原土地改良区理事長、副会長に吉良勝彦 高島井堰土地改良区理事長（再任）、大森博 宇佐土地改良区理事長（新任）がそれぞれ選任された。総会終了後には、現地研修並びに歓送迎会を予定していたが、台風6号の北上による影響で開催を見送ることとした。



新会長に就任した
佐藤慶一 荻柏原土地改良区理事長

●令和5年度「大分県畑地かんがい施設対策推進協議会」総会および研修会

大分県畑地かんがい施設対策推進協議会（8会員、会長：小山一善 須ノ原土地改良区理事長）は、8月23日（水）に総会、研修会を開催した。

会長あいさつで小山会長は「同じ畑地かんがいに関わる仲間として一歩でも二歩でも前に進めて行けるよう活動していこう」と会員へ協力を呼びかけた。来賓あいさつでは、義経賢二県土連会長が、今後起こりうる様々な地域の課題解決に向けて本協議会への全面的な支援を約束。県農林水産部の黒垣参事監は「農業の成長産業化に向けた県の取組で重要な畑地帯の振興について二つの視点（「生産性の高い園芸団地づくりに向けた総合的な整備」、「災害に強い生産基盤の整備」）で進めたい」と会員への期待を述べられた。

議事に入り、事業計画・収支（案）等が承認され、総会終了後、県農村整備計画課菅原課長補佐が研修会の講師となり、畑地かんがいに関する事業制度等を丁寧に説明いただいた。



●第1回 田んぼダム推進部会 設立総会

8月28日（月）大分県土地改良会館にて大分県多面的機能支払推進協議会 第1回 田んぼダム推進部会の設立総会を開催し、農林水産省多面的機能支払推進室からは栗田徹 室長、平山宏次郎 保全技術係長をはじめ、九州大学谷口助教、九州農政局農村振興部、大分県土木河川課、国交省九州整備局、大分県農林水産部、各市町村ら約50名が集結した。

開会にあたって、田んぼダム推進部会 安東正浩部会長より「令和3年度より開始している田んぼダム実証試験にて水田の一時貯留機能と排水路における洪水の抑制機能を確認していて、今年度は約100haで実証試験を行う予定である。今後も地域を熟知されている市町村をはじめ、流域治水に関わる皆さまとの連携が大事だと考えている。」と挨拶された。

討議では、令和5年度田んぼダムの活動方針、活動計画、田んぼダム推進部会規約、田んぼダム推進部会体制を事務局より提案し出席者からの承認を得た。

また、基調講演では農林水産省 栗田徹室長より「田んぼダムについて」と九州大学 谷口智之助教より「田んぼダムの仕組みと現場への導入に向けての考え方」をご講話いただき、今後の田んぼダム推進にむけて出席者全員的意思統一をはかり、田んぼダム推進部会 設立総会は閉会した。



●大分県農業集落排水事業研修会を開催

9月27日（水）、土地改良会館で農業集落排水事業研修会を開催した。本研修会は、大分県公園・生活排水課、地域環境資源センター（JARUS）より来賓及び講師を招き、農業集落排水事業の動向や今後の事業推進に向けた説明を通して、農業集落排水事業への理解や取組の促進を目的としている。



農業集落排水事業研修会

大分県では13市町47地区の農業集落排水施設が稼働しており、長期の供用による機器等の劣化に対し、これまで農山漁村地域整備交付金事業を活用した更新整備が行われている。こうした中、令和3年度に農村整備事業（補助事業）が新設され、人口規模の見直しなどを含む維持管理適正化計画の策定が必須となる。

今後、維持管理適正化計画に着手する地区の増加が予想されることから、農業集落排水事業に関係する市町職員が出席のもと、質疑応答では活発な意見交換が行われた。

令和5年度 おおいた水土里ネット女性の会 総会

おおいた水土里ネット女性の会（会長 杵築市土地改良区事務局長 上田 眞由美）は10月4日（水）土地改良会館大会議室において、水土里ネット大分加藤常務理事を来賓として迎え令和5年度総会を開催した。

加藤常務理事より来賓挨拶をいただき、農業・農村における女性の活躍、土地改良区の役割について再確認し、役員一同、地域農業並びに土地改良区の発展のため、おおいた水土里ネット女性の会の活動に取り組む決意を新たにしました。

総会では、令和4年度事業報告と令和5年度事業計画の議案について審議し全員の承認を得た。また、総会後に田んぼダムの勉強会と複式簿記等意見交換会を行った。複式簿記等意見交換会では事前アンケートで募集した各土地改良区の相談内容を基に、大分県土地改良事業団体連合会 会員支援課及び、各土地改良区が事例や気になる点などを交えながら活発な発言を皆さんからいただき諸問題の共有、女性職員間の交流ができた。



加藤常務理事 来賓挨拶



田んぼダム勉強会の様子

インフォメーション

令和6年度 農業農村整備事業関係予算の概算要求について

8月31日、令和6年度農林水産省概算要求が公表された。農業農村整備事業関係予算は、5,338億円（対前年比119.8%）が要求された。

- 農業農村整備事業においては3,980億円（対前年比119.8%）を要求。食料安全保障の確立と農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算要求としている。
対策のポイントとして、農業の競争力強化や国土強靱化を図るため、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取組拡大、農道、集落排水施設の整備等を計画的に推進することとしている。
- 農業農村整備関連事業では655億円（同120.5%）、農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分として703億円（同119.0%）が要求された。
- 日本型直接支払のうち、多面的機能支払交付金は488億円（同100.2%）を要求。

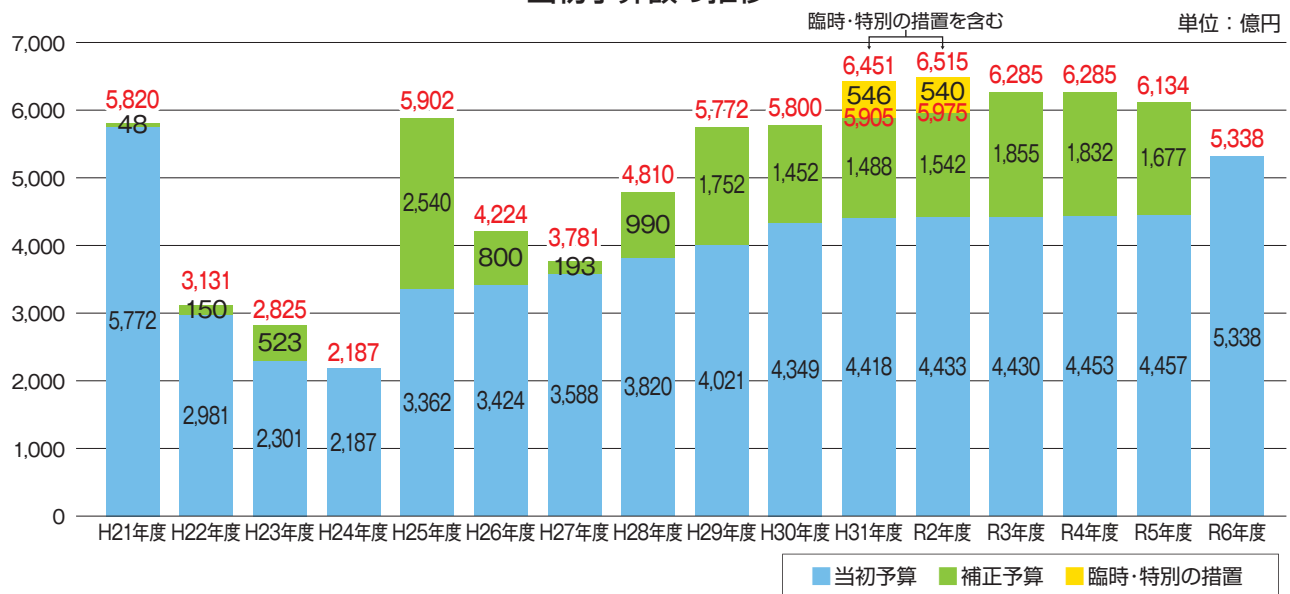
令和6年度概算要求額

単位：億円

事 項	R5 当初予算額	R6 要求額	前年度比
農業農村整備事業（公共）	3,323	3,980	119.8%
農業農村整備関連事業（非公共）（農地耕作条件改善事業等）	543	655	120.5%
農山漁村地域整備交付金（公共）（農業農村整備分）	591	703	119.0%
合 計	4,457	5,338	119.8%

※計数は四捨五入のため端数において合計とは一致しない場合がある。

当初予算額の推移



詳しくは農林水産省HPをご参照下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html>

令和5年度 土地改良役職員研修会

土地改良役職員研修会は、土地改良区の役員及び職員の方のスキルアップを目的とした研修会となっており、また土地改良区同士のお互いの情報交換の場としてこの研修会を開催することとしました。多くの会員皆様のご参加をよろしくお願いします。

開催日時 令和5年11月22日（水） 13：30～
場 所 別府市「ビーコンプラザ」2階レセプションホール
開催内容 講演（農林水産省農村振興局 緒方部長）
「農業の状況と今後の土地改良」等

令和5年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会 30周年記念総会

土地改良区事務局間のつながりを密にし、自主性の確保と適正な運営、管理と併せて会員の親睦を図ることを目的に設立された本協議会は、本年度設立30年の節目を迎えることから、記念総会を開催することとしました。多くの会員皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

開催日時 令和5年12月5日（火） 15：00～
場 所 別府市「亀の井ホテル」2階由布の間
開催内容 基調講演（水土里ネット大分 義経会長）
 土地改良区の抱える諸課題を討議するワークショップ

大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2023

農村の活性化や県内活動組織の取組への意識向上を図るとともに、更なる取組面積の拡大や組織の広域化推進を目的に開催します。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

開催日 令和6年1月24日（水）
場 所 大分市J:COM ホルトホール大分 大ホール
開催内容 優良活動組織による事例発表
 基調講演



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）
TEL097-536-6632 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

